

2023年7月理事会議事録

日 時：2023年7月22日（土）14：00～17：20

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出 席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・黒澤 浩・小菅将夫・澤田秀実・高倉 純・田尻義了・谷畑美帆・藤沢敦・藤野次史・溝口孝司・水本和美・山崎和巳、監事：都築恵美子、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：足立拓朗・谷口 榮・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・萩野谷 悟

進 行：藤沢 敦

議 長：辻 秀人

藤沢理事から、本日の出席者は20名（うち理事19名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

小菅理事から、千葉県の寺村光晴会員が2023年6月14日、神奈川県の土生田純之会員が7月5日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第729号 退会会員の承認について

小菅理事から、茨城県の*会員から2022年度をもつての退会届、宮城県の*会員、茨城県の*会員、京都府の*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第730号 災害対応委員会委員の選任について

田尻理事から、杉井 健委員長・岡村勝行委員・菊地芳朗委員が2022年度で3期6年の任期を終えるが、災害の把握に当たり全国的に委員が必要であり、また業務の継続性を考慮して余人に替えがたいことから、「日本考古学協会規則」第29条第1項の「ただし、特別な理由があり、会長が必要と認めた場合はその限りではない」に則り、引き続き次期2年の委員継続の提案があり、原案通り承認された。

議案第731号 国際交流委員会委員の選任について

溝口孝司理事から、山本孝文委員の任期満了による退任に伴い、新たに茨城県の小林孝秀会員を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第732号 機関誌『日本考古学』編集委員会規定の一部改正（案）について

黒澤理事から、「機関誌『日本考古学』編集委員会規定」第6条の査読委員の規定について、実情に即して査読委員を置かず都度依頼することとし、第1項「委員会に、査読委員を置くことができる。」及び第2項「査読委員は、原則として正会員の中から委員長が選考し、委員長が委嘱する。（後略）」を、第2項を廃し、第1項「委員会は、投稿原稿

について査読者を、正会員から選考し、委員長が依頼する。ただし、関連分野との連携の観点で正会員外から選考することができる。」とするとの改正提案があり、原案通り承認された。

議案第733号 『年報76』執筆者選定委員の承認及び執筆要項について

亀田理事から、『日本考古学年報』76（2023年度版）の内容及び刊行までのスケジュール、並びに各理事の執筆者選定委員案と執筆要項が提示された。掲載項目の変更として、新たに「国際的な潮流」を設けることとし、これまで掲載されていた「学際領域研究」については各地域・研究動向に含めて記載されていることから設けないこととするとの説明があり、原案通り承認された。各理事には担当になった時代・地域の執筆者について、期限までの選定・連絡が求められた。

議案第734号 2024年度第90回総会におけるオンライン配信サポート業務（参加申込フォーム等）について

田尻理事から、企画担当では、コロナ禍以降、毎年別会社に委託していた総会時の参加申込フォームを、協会公式サイトのリニューアルに合わせて機能として実装することを計画し、今年度予算の承認を得ていたが、連携を想定していた会員向けシステムについては協会組織の今後の在り方を含めて十分に議論する必要があることから、今年度は総会参加申込フォームの公式サイトへの設置は行わず、来年度の第90回総会においては、これまでと同様にオンライン配信サポート業務を改めて依頼することしたいとの説明があり、承認された。

なお、予算の変更については財務担当理事とも協議して整理することとなった。

議案第735号 新入会員の入会資格審査委員の選任及び審査日程の承認について

谷畑理事から、2024年度入会の新入会員（正会員）の入会資格審査日程並びに入会資格審査委員候補者14名の提示があり、原案通り承認された。

報告第945号 アイヌ研究倫理指針案について

佐藤副会長から、5月30日（火）に開催されたアイヌ研究倫理準備会を受けて、6月6日（火）に各理事に配信し意見を求めた「アイヌ民族に関する研究倫理指針（案）」について、アイヌラウンドテーブルにおけるこれまでの議論の経緯を含めて、主要な修正点等が説明された。続けて、アイヌ研究倫理検討委員会の立ち上げ等の今後の予定についての説明があり、メール配信でも特に意見がなかったことから、了承された。

報告第946号 2023年度宮城大会の実施概要について

藤沢理事から、2023年度宮城大会の日程及び実施概要の説明があった。宮城大会は対面とオンラインのハイブリッド方式で開催すること、懇親会は新型コロナウイルス感染防止の観点から実施しないが、ポスターセッションや図書交換会、エクスカージョン（見学会）は対面で実施することが説明され、了承された。

報告第947号 カフェde考古学2023第2回「オリエント考古学の現在」の報告

亀田理事から、カフェde考古学2023第2回「オリエント考古学の現在」を、6月10日（土）に国際交流委員会担当で実施し、80名ほどの参加を得たことが報告された。アンケート結果は概ね好評だったが、専門的な内容を希望する意見もあったとの説明があり、了承された。

報告第948号 2023年度賛助会員活動企画について

岡林理事から、本年度の賛助会員の活動企画として、奈良県明日香村周辺の歴史遺産・遺跡を巡る見学会を11月19日（日）に実施する計画であることが説明され、了承された。

報告第949号 各委員会等における2023年度会議等報告について（その2）

1 陵墓の報告

岩本理事から、①立会調査見学が6月7日（水）に叡福寺北古墳（聖徳太子磯長墓）で実施され、10学協会11名が参加した。②6月13日（火）に第1回運営員会を開催し、今年度の活動を協議した。③7月6日（木）に慶応大学三田キャンパスにおいて陵墓16学協会の全体会議を14学協会20名が参加して行い、本年度の陵墓保全整備工事や今年度の立入り観察について協議した。④全体会議後、宮内庁との陵墓懇談を行い、13学協会18名が参加したとの報告があり、了承された。

2 研究環境検討委員会の報告

亀田理事から、7月5日（水）に委員会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①研究倫理部会の矢島國雄部会長から、アイヌ研究倫理指針案の説明を受けた。②第89回総会で実施したポスターセッションについて報告と意見交換を行った。③10月14日（土）に担当するカフェde考古学2023第4回の実施内容を協議した。④インターンシップの情報や総会ポスターセッションでのアンケート結果をまとめて、今後の活動に活かしたいとの報告があり、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会の報告

藤野理事から、5月14日（日）、6月10日（日）及び7月8日（土）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について現状を把握するとともに、JR東日本が策定した「史跡旧新橋停車場跡及び高輪築堤跡」における保存活用計画の内容確認を行い、引き続き注視していく。②広島市広島城跡について、面談を行い要望書を提出した。③徳島市徳島城跡について、発掘調査現場の視察を行った。損壊が及ばないように設計変更が計画されたとの説明があり、引き続き注視する。④安芸市瓜尻遺跡の整理作業について、面談の実施を調整している。⑤公式サイトリニューアルに伴う埋文委担当のページについて協議したとの報告があり、了承された。

4 広報委員会の報告

大竹副会長から、7月12日（水）に委員会をオンラインで開催し、公式サイトのリニューアルについて主に検討した。①今年度のリニューアルに合わせて行う予定だった、総会

時の参加申込フォームの実装については、次年度以降のシステム面での改修と合わせた方が最終的には修正が少ないことから、今年度の制作については見送ることとした。②次年度以降に予定しているシステムの導入には、運用と保守管理の観点から専門的な設計が必要であり、仕様書作成とリニューアル業務の2段階の発注が望ましいとの提案があり、今後、会長・副会長・事務局長や財務担当理事と協議を行う。③現公式サイトの内容を整理し、表示設定やレイアウトが指定されているものについてはテキストデータ化を求める。また、PDFの冊子体で掲載されているものは外部プラットフォームの利用を検討することを移行の方針とする。今後、各委員会にはそれぞれ担当コンテンツの確認を依頼する予定であるとの説明があり、了承された。なお、外部プラットフォームの利用については、著作権の処理についての配慮が求められた。

5 災害対応委員会の報告

田尻理事から、6月9日（金）に委員会をオンラインで開催し、①委員会構成について協議した。②5月31日（水）の文化財防災センター2023年度第1回事業報告会、及び6月5日（月）の2023年度第1回文化遺産防災ネットワーク推進会議に、それぞれ参加した委員から報告を受け、意見交換を行った。③石川県珠洲市を中心とした地震や、台風・梅雨前線による大雨等に伴う文化財被害の情報共有を行ったとの報告があり、了承した。

6 機関紙『日本考古学』編集委員会の報告

黒澤理事から、6月10日（土）に委員会をオンラインで開催し、①新体制となり、業務の引継ぎを行った。②J-STAGEへの機関紙掲載論文の搭載や抜き刷りのPDF化には、著作権処理の問題が関係していることを確認した。③「機関紙『日本考古学』投稿規定」第6条について、以前は「査読委員」となっていた箇所を、機関誌『日本考古学』編集委員会規定の改正を受けて「査読者」に、査読を行わない場合もある項目に「研究動向」を加えるとの改正を行ったとの報告があり、了承された。

7 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

小菅理事から、6月4日（日）に委員会をオンラインで開催し、①5月9日（火）に教育出版社を訪問し、教科書の記載内容や次期検定教科書の作業工程等について面談を行った報告を受けて協議した。②総会ポスターセッションの総括を行った。③担当のカフェde考古学2023第5回について、企画内容を検討した。④新たなWebコンテンツについて準備を進めているとの報告があり、了承された。

8 アーカイブス小委員会の報告

足立佳代理事から、①7月15日（土）～19日（水）にかけてメール審議で、『日本考古学年報』及び『会員名簿』のスキャン業務委託における仕様書の検討を行った。②4月～7月にかけては、特別委員会や小委員会、科学研究費関係資料の整理状況について確認・登録を行ったとの報告があり、了承された。

その他

1 常務理事の登記終了について

山崎常務理事から、第89回総会で承認された常務理事の交代について登記が完了したことが報告された。

2 日本考古学協会賞規定について

藤沢理事並びに佐藤副会長から、現行の日本考古学協会賞規定に、実態に即していない箇所があることから整理し、改正を検討する必要がある。ただし、第14回の募集は8月から始まることから、第14回については現行の規定で実施するとの説明があった。

以 上